

# High School Study Abroad in U.S.A

アメリカ公立高校  
交換留学プログラム

## 世界へ飛び出し グローバルになる!

グローバル化が進む今日、外国や英語は私たちにとって非常に身近な存在となり、英語ができることの必要性、英語教育の重要さと大切が見直され、その教育は年々低年齢化をしています。実際に、小学生への英語の科目化の導入、アクティブラーニングの実施に見られるように、これまではないほど英語教育への熱が高まっています。

今後は読み書きを中心とした英語教育ではなく、英語教育を通じての、多様な価値観を持ち積極的なコミュニケーション、そして外国人と渡り合えるリーダーシップが求められています。実際に、「英検準1級とりました!」、「小さいころから英会話学校に通っています!」という方はたくさんいますが、本当の意味での国際文化を理解し、外国人とスラスラとコミュニケーションができる方はどれほどいるのでしょうか?

アメリカ交換留学では、1年間の留学生活を通じて、実践できる英語力、異文化に対する多様性、リーダーシップ、そして積極的なコミュニケーション力を身に付けることができます。高校生の感受性が寛容な時期だからこそ、その効果は数倍に広がるといわれています。

### さあ日本を飛び出そう!

新しい自分との出会い、新しい世界との出会い、異文化との出会い…海外留学では多くの出会いが待っています。

留学といっても、短期留学、語学留学、高校留学、大学留学などその内容は多岐にわたります。どんな留学であろうとも、留学に行くことで国際理解力を養い、日本を知り、そして世界に目を向けることができる国際的な人材としての一歩を踏み出すことができます。海外留学得た経験はグローバル化が進む社会の中で一歩も二歩もリードすることができます。

# アメリカ高校 交換留学

## 伸びるのは英語力だけではない

「高校留学の目的は?」と質問をするとほぼ100%で「英語力」を伸ばしたいと答えが返ってきます。高校留学は、英語力の向上はもちろんのこと、英語力ではないスキルに向上の注目をすべきです。グローバル化が進む現代、そしてIT技術が発展する中、英語力だけでは満足できません。交換留学を通じて、真の国際人となり、グローバル環境で活躍できる人材となるスキルを身に付けよう!



Communication skills  
コミュニケーション力

「英語力=コミュニケーション力」ではありません。留学生活を通して海外文化・外国人の思考や表現、海外の生活スタイルに精通し、国際理解力を備えた抜群のコミュニケーション能力が身につきます。

Diversity  
多様性

移民の多いアメリカでは、様々な人種の学生が一つの学校に通っています。国際色豊かな環境での生活では、他文化に触れ必然と多様性を身に付けることができます。

Global skills  
グローバル力

自分の意見をしっかり持ちながら、他者との協調がグローバルになるためのカギです。高校留学では、今日のグローバル社会に必要なクリティカルシンキング、リーダーシップ力が身につきます。

Self expression  
自己表現

アメリカの高校は参加型の授業スタイル。授業は、先生の話を聞いてノートをとるのではなく、意見を求められることが多くあります。しっかり伝えること、積極的に表現するスキルが身につきます。

Independent skills  
主体性

留学生活は決して簡単なものではありません。様々な挑戦を目的と意見をもって、課題や困難を乗り越えなければなりません。その環境では高い主体性が身につきます。

一般社団法人  
国際教育交流  
ネットワーク機構



一般社団法人 国際教育交流ネットワーク機構は、グローバル化が進む現代社会において、海外留学・国際交流・英語教育を通じて、世界で活躍できる人材の育成を目指しています。高校生を中心に、語学力だけでなく国際理解力や柔軟な思考力を身につけるためのサポートを行い、日本における海外留学の普及と推進にも積極的に取り組んでいます。

当機構は、海外教育機関から日本代表オフィスとして認定されており、アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、ニュージーランドをはじめとする各国への高校留学を幅広く支援しています。主な提携先には、アメリカ・カナダ・イギリス・アイルランドで高校留学を扱う教育団体「Student Management Group (SMG)」、アメリカCSJET認可の交換留学団体「International Student Exchange (ISE)」、コネチカット州にあるボーディングスクール「St. Thomas More High School」、アメリカで広く展開する「Amerigo Education」、ニュージーランドにて交換留学を支援する「Your Education」などがあり、その他にも世界各国の高校や教育委員会と連携し、質の高い教育環境の選択肢を提供しています。

さらに当機構では、State University of New York (SUNY) COILセンターが提唱するCOIL (Collaborative Online International Learning) の手法を、高校生向けの次世代型学習に導入しています。これにより、生徒たちは留学先で必要となる思考力・発想力・問題解決力、多様性を受け入れる柔軟性、創造力、他者との協働力、そして効果的なコミュニケーション能力を身につけることができます。このプログラムは、実際の留学に向けた事前学習の一環としても位置づけられ、生徒たちがグローバルな視点で学び合う貴重な機会となっています。

このように当機構は、世界各国の教育機関と連携した国際教育交流ネットワークを構築し、多様な教育プログラムの紹介と現地での質の高い教育活動、そしてオンラインを活用した国際協働学習の提供を通じて、次世代を担う国際人の育成に取り組んでいます。

# アメリカ交換留学

## アメリカの高校へ最長1学年間通学を行い、文化交流、国際交流を目的としたプログラム

アメリカ交換留学とは、アメリカ国務省の監督の下運営されているプログラムで、アメリカの高校へ最長1学年間通学を行い、その留学生活を通じて文化交流、国際交流を目的とした高校留学プログラムです。公立高校に通い、地元のホームステイへ滞在を行います。まさしくアメリカの高校生が行っている普通の生活を行うこととなります。



### 交換留学で得られるスキル

国際  
理解力



交換留学プログラムはアメリカのコミュニティに浸り、英語力の向上はもちろんのこと、国際交流、そして国際理解力を高めるプログラムです。その留学生活の中では、異文化、海外の生活スタイルから学ぶ「国際理解力」、授業での様々な意見や発

言を行うことで得られる「クリティカルシンキング」、そして毎日の生活から自然と身につく英語コミュニケーションやリーダーシップによる「グローバル力」と、今後の社会で必要とされるスキルを身につけることができます。

### 受け入れ環境

学校 公立高校

滞在 ホームステイ

アメリカ交換留学は、国務省認定の非営利教育法人がその運営を任されています。受け入れ先は、各生徒の英語力、プロフィール、環境を考慮し決められるため受け入れ先を選ぶことができます。

学校は原則として公立高校、滞在はボランティアホームステイとなります。

留学先の高校はアメリカ公立高校になります。アメリカの公立高校は、その地域(学区)に住む高校生が通っています。日本でいうと公立中学とシステムが似ているようになります。公立高校は、大規模校から小規模校まで様々です。また、一般的に私立学校に比べ、留学生が少ないため、よりアメリカンな環境での留学生活を行うことができ、まさしくアメリカ人の学生と同じ高校生活を送ることができます。

ホームステイは、ボランティアで学生の受け入れを行っています。各ホームステイは受け入れ団体により、家庭訪問などのチェックが行われ、交換留学にふさわしい家庭が厳選されています。各ホストファミリーの家庭環境、趣味、職業、人種、宗教、価値観は様々で、原則的にこれらを選ぶことはできません。様々な生活習慣の違いも、アメリカ文化の経験として理解し受け入れるようにすることが大事です。

### 地域の選択について

アメリカ交換留学はそのプログラムのガイドラインにより、原則として留学する地域や学校の指定を行うことはできません。ですが、ISEでは、長年の経験、そして範囲にわたるネットワークにより、下記の地域のリクエストを行うことができます。

- エリア希望 → アメリカ東地区、西地区、南地区、中央地区
- 州希望 1 → カルフォルニア州リクエスト
- 州希望 2 → フロリダ州リクエスト
- 州希望 3 → その他、希望の州リクエスト

※プレイメントは申込の時期、学生のプロフィールなどにより行われるため、希望は100%約束されるものではありません。  
※エリアリクエストと州リクエストを同時に行うことはできません。  
※指定には別途費用が必要になります。



### 交換留学の特徴

交換留学では、通常の私費の高校留学のメリットに合わせて、特有のメリットがあります。

#### 費用が安い

公的プログラムでの留学となるため一般の高校留学に比べて費用が安い

#### 真のアメリカ体験

一般の公立高校に通い現地の高校生と同じ学校生活による真のアメリカ体験

#### アメリカの家庭生活

ボランティアホームステイ滞在中に体験するそのまのアメリカの家庭生活

#### 日本人が少ない

他のプログラムに比べて留学生日本人が少ない環境

#### 国際理解力

文化交流を通じて日本の良さを海外で広め深い国際理解力を身につける

#### アメリカの成績証

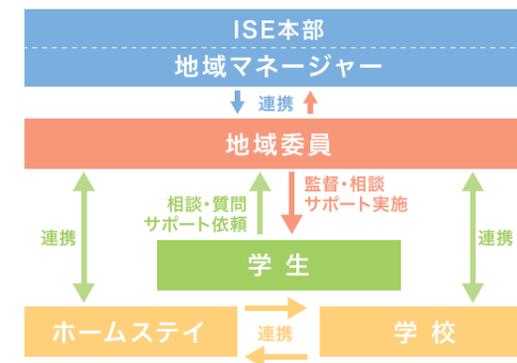
アメリカの高校の成績証が発行されます。(日本の高校へ単位認定が可能)

### 留学期間

アメリカ交換留学の留学期間は、1学年、もしくは1学期間でのみとなります。(1学年以上の留学は行うことができません。)

	開始時期	終了時期	期間
1学年留学	8月 または 9月	5月 または 6月	約10ヶ月間
学期留学	8月 または 9月	12月 または 6月	約5ヶ月間
	12月 または 1月	5月 または 6月	約5ヶ月間

### プログラム体制



#### 地域委員（エリアレップ）が留学生を担当

ISEアメリカ交換留学プログラムには、毎年、世界約60カ国から約3,000名の留学生が参加しています。生徒には、ホームステイ先と学校が決定されると、その地域を担当する「地域委員（エリアレップ）」が選任されます。地域委員は、ホストファミリーや学校、ISE本部、エリアマネージャーと連携しながら、生徒サポートを行います。生徒は、学校生活やホームステイでの悩みや疑問があれば、地域委員に相談することができます。ただし交換留学でのサポートは、常に生徒に寄り添い、手取り足取りお世話をするような「手厚いサポート」ではありません。

むしろ、生徒自身が課題や困難に直面した際に、自ら考え行動し、乗り越えていくことが求められます。地域委員は、生徒の相談に応じたり、定期的の様子を確認したりしながら、必要に応じて適切なサポートを提供します。あくまで、生徒の自立と成長を見守り、後押しする“アドバイザー”的な存在です。交換留学は、日常の中でさまざまな課題に直面し、それを乗り越える経験を通して、生徒が大きく成長できる貴重な機会です。そのため、参加する生徒には、高いモチベーションとチャレンジ精神、そしてアメリカでの生活を「やり抜く力」が強く求められます。

### 受け入れ団体

International Student Exchange (ISE)



アメリカ交換留学はアメリカ国務省が監督機関を務めており、国務省のガイドラインに従って認定された非営利教育法人のみがプログラムの運営を行うことができます。一般社団法人国際教育交流ネットワーク機構で紹介するアメリカ交換留学は、International Student Exchange (ISE)を現地受け入れ団体として、プログラムの提供を行っています。

ISEは世界中の人々へ学生交流、異文化間の教育を通じてお互いがより身近になることを目的として、1982年に創立をされた非営利教育法人です。創立以来、世界40カ国から来た数多くの学生へハイレベルな教育と国際交流の機会を提供してきました。また、アメリカ国務省認定の高校交換留学の取り扱い団体の評価を行う教育組織、CSIETより、創立以来毎年認定を受け、交換留学プログラムの運営を実施しています。

## アメリカ公立高校

### 公立高校の生徒は

**十 人 十 色**

アメリカの公立高校は、その地域(学区)に住む高校生が通っています。日本でいうと公立中学とシステムが似ているようになります。また、アメリカ人は公立高校に入るのに入試がありません。

高校には IVY リーグに進学するようなものすごく成績優秀な生徒から、メジャーリーグのドラフトにかかるようなスポーツが優秀な生徒、アートの才能に優れた生徒、さらには生まれも育ちもアメリカではない生徒など様々

な生徒が在籍をしています。入学に基準が設けられているわけではなく、広く地域の高校生へ門戸を開いているからこそ、公立校では様々な生活スタイルを持った、様々な考え方をを持った、そして様々な特徴を持った生徒であふれています。まさしく「十人十色」。多くの人に出会い、多くの発見を行い、そして多様性を育むには最適な環境です。

## 留学生の少ない学習環境



### 日本人はごく少数

アメリカの公立高校への留学は、私立高校に比べて留学生の受け入れがかなり制限されています。よって、一般の私費留学としての公立高校留学への参加者は非常に少ないです。交換留学での派遣先高校には、日本人は自分のみ、またはごく少数、さらには留学生も数名になるケースが多いです。アメリカ人と同じ環境での留学生生活を行うことができる機会にあふれています。

## 授業のスタイル



### 生徒同士で意見を交換

アメリカの高校は、日本の授業のように先生の話聞いてノートをとるスタイルではなく、グループワーク、ディスカッションなど生徒同士で意見を交わしながら進められることが多いです。通常の学力の向上に合わせて、自分で考え、自分の意見を述べ、そしてそれをまとめる力が身につきます。グローバル化が進む今日に必要な「クリティカルシンキング」「リーダーシップ」、そして主体的に物事を考える力を身につけることができます。

また、科目の履修は日本の大学のようなスタイル。多くの科目の中から、自分の好きな科目を選択し、各自で自分の時間割表を組み立て、時間ごとに教室を移動するスタイルです。交換留学生は原則として、英語、そしてアメリカ史の履修が必須となります。その他の科目は、英語力等に応じて選択を行うようになります。

## クラブ活動に関して



### 留学生はクラブ活動はイベントへ積極的に参加

アメリカの高校も、日本の高校と同様にスポーツ部や文化部、クラブなどの活動があり、またその他にも様々なイベントが実施されています。部活、クラブ活動、イベントへの参加は、アメリカ人生徒との交流、文化体験の最高の機会になります。交換留学生はクラブ活動やイベントへ積極的に参加を行うことが推奨されています。

## コミュニティーサービス参加



### Project HELPでコミュニティーに感謝を還元

交換留学では世界中の若者たちが異文化を理解し、国際的な視野を広げながら、将来のグローバルリーダーとして成長していくことを目指しています。その一環として、ISEでは「Project HELP」という奉仕活動プログラムを実施しています。この取り組みは、留学生一人ひとりが地域社会の一員として貢献し、受け入れてくれたホストコミュニティへの感謝の気持ちを行動で示すことを目的として参加必須となります。また、参加生徒にボランティア活動を通じて、思いやりの心や責任感、社会への関心を育むことも大きなねらいです。

## これまでの派遣先一例

アメリカ交換留学は、国際交流を目的としており、これまで日本人が少ないエリアへの派遣となることが多いです。派遣エリアは、大都市近郊、日本人が住んだことのないエリア、人口が1000人の街など様々です。

州	街	学校
アーカンソー州	キャボット(人口約2,600人)	Cabot High School
アリゾナ州	エロイ(人口約20,000人)	Santa Cruz Valley Union High School
インディアナ州	コナーズビル(人口約15,000人)	Connersville High School
オクラホマ州	サリソー(人口約8,500人)	Asllisaw High School
オハイオ州	マーティンズフェリー(人口約6,600人)	Martins Ferry High School
オハイオ州	ユニオンシティ(人口約13,250人)	Mississinawa Valley High School
オレゴン州	ハンティントン(人口約500人)	Huntington Charter School
カリフォルニア州	レモングローブ(人口約26,000人)	Liberty Charter High School
テキサス州	ナイッパ(人口約700人)	Knippa High School
テネシー州	ラ・フォレット(人口約2,600人)	Campbelle County Comprehensive High School
ミシガン州	バッドアックス(人口約3,000人)	Bad Axe High School
ミシガン州	ヨハネスブルク(人口約1,300人)	Johannesburg-Lewiston High School
ミシシッピ州	ヘルナンド(人口約14,000人)	Hernado High School
ルイジアナ州	レイクチャールズ(人口約70,000人)	Lake Charles College Prep

## アメリカ高校生活のポイント

### 交換留学生はC以上の成績をキープ

アメリカ高校交換留学では「勉強しない」生徒への風当たりは強く、学業面での姿勢が非常に重視されます。宿題を出さない、授業に集中しない、やる気を見せないといった行動は、すぐに「勉強する気がない」と見なされてしまいます。

アメリカ高校交換留学プログラムでは、成績をC以上に保つことが求められます。複数の科目でC未満の成績が続いたり、学校やプログラム側から「このままではダメ」と判断された場合には、最悪の場合、プログラム除籍や学校からの退学処分となることもあります。



ただし、「できない」より「やらない」方がずっと問題です。わからなくてもやろうとする姿勢があれば、先生たちははっきりサポートしてくれます。逆に「やらない生徒」には厳しく対応されます。

成績不振が続いた場合は、現地の学校やプログラムの判断でアカデミックチューター(学習サポート)の利用が義務付けられることもあります。その際の費用は生徒または保護者の自己負担となるため、あらかじめご理解いただき、必要に応じて速やかに対応することが大切です。

## ホームステイについて

アメリカ交換留学のホームステイはボランティアで学生の受け入れを行っています。アメリカは移民の国であり、様々な人種や宗教、そして生活スタイルを持った人々が一緒に暮らしている国です。ホームステイにおける家庭環境、趣味、職業、人種、宗教、価値観は様々で原則的にこれらを選ぶことはできません。それがアメリカです。この側面も含めての「留学」体験となります。ホームステイは、交換留学のガイドラインに沿った家庭を、各エリアの担当者が訪問、面接を行い交換留学のホストとしてふさわしいかを確認して決定されます。



### 第二の家族



#### 積極的に家族の一員となる努力を

各ホームステイは生徒を第二の家族として受け入れをしてくれます。よって、各生徒も、積極的に家族の一員となる努力を行わなければなりません。生活の中では、家事や育児、掃除、食事の手伝い、また自営業(農業・ファーム)などの手伝いをしなければならないこともあります。受け身にならずに、積極的に自分から手伝いをするようにしましょう。また、アメリカの文化には宗教があります。家庭によっては、毎週末に教会へ行く習慣があります。異文化学習の一環として、教会参拝などへも積極的に参加をしてください。

### 家族のスタイル



#### 様々な違いを体験

ホームステイそれぞれ家族構成は異なります。シングルマザー(ファザー)の家庭、リタイヤした老夫婦、両親共働き、乳児がいる家族、大家族などその内容は様々なです。日本とは異なる家族のスタイルで戸惑うこともあるかもしれませんが、それもホームステイの良いところです。積極的に様々な違いを体験してください。

## 自分が変われば 見える景色が変わってきます!

こんなの日本の常識ではありえない!自分の家族はこうではなかった!考えていたことと全然違う!

全て当然です!皆さんはアメリカの家庭で、海外の習慣や文化の中で生活をしています。日本にいた時と違うことは当然です。そして、それが海外の常識です。

ホームステイ生活を成功させる秘訣は積極的に変わることです。それは、大きな挑戦となりますが「郷に入っては郷に従え」です。自分がその土地の人になったつもりで、海外生活に馴染むための努力をしてください。皆さんのマインドが変われば、見える景色がガラッと変わります。それがアメリカ生活に順応をする第一歩になります。

### より良いホームステイマッチングのために



#### 積極的に好感度の持てる内容

申込書にある学生プロフィールは、より積極的に好感度の持てる内容にて作成をしてください。自分をしっかりと理解してもらえる自己紹介、きっちりとした文章での表現、また、多くの笑顔で撮影されている写真はとても重要です。楽しそうな雰囲気は、会ったことのない生徒を判断する材料となることがあります。例えば男子であれば短髪であること、またアクセサリーなどが無いことが好ましく感じられます。より良いプロフィールは、学生のプレースメントに大きく影響します。ISEではそのプロフィールの情報を基にプレースメントを行うため、より適したマッチングのためには正確で積極的な情報が必要となります。

## Q & A

### 高校に関して

**Q** 高校選ぶことはできますか?

**A** いいえ、できません。交換留学では、生徒は受け入れ団体が各生徒のプロファイルに応じて受け入れ地域を決定します。その決まった地域の公立高校への就学となります。

**Q** 履修科目は決まっていますか?

**A** いいえ、決まっています。原則としては、各生徒の英語力に応じて履修科目を決めることができます。ですが、原則として英語、歴史の授業は履修をしなければなりません。

**Q** 部活やクラブに参加できますか?

**A** はい、参加できます。高校では様々な部活動、クラブ活動、イベント、アクティビティが実施されています。積極的に参加をして、他の生徒との交流を深めましょう。

### ホームステイに関して

**Q** ホームステイ先を選ぶことはできますか?

**A** いいえ、できません。交換留学では、生徒は受け入れ団体が各生徒のプロファイルに応じて受け入れ地域を決定します。その決まった地域のボランティアホームステイへの滞在となります。

**Q** ホームステイはどんな家庭ですか?

**A** ホームステイはシングルマザー(ファザー)、リタイヤした老夫婦、両親共働き、乳児がいる家族、大家族、同性代の子供がいる家庭などその内容は様々です。家庭を選ぶことはできません。

**Q** 部屋は個室ですか?

**A** 部屋は個室とは限りません。ホストファミリー先の子供、同じ交換留學生とのシェアールームになることもあります。シェアールームでは2段ベッドとなることもあります。

### その他

**Q** ホームステイ・学校はいつに決まりますか?

**A** アメリカ交換留学は、プログラムのガイドラインより8月31日までにホームステイ、学校を決定する決まりになっています。早めに決まるのが良いこと、早く内容をお知りにならねたいことは承知しておりますが、ホームステイ先の決定(渡航先、学校の決定)は、8月後半、出発直前になることもあります。決まるまでは辛抱強くお待ちいただくようお願いいたします。

**Q** 留学先の地域の指定はできますか?

**A** ISEでは、広範囲な交換留学ネットワークを持っています。そのネットワークを使い、カリフォルニア州、フロリダ州、また西地区、東地区など州、またはエリアのリクエストを行うことができます。地域のリクエストは、生徒のプロファイルをもとに決められますので100%希望が通るお約束はできません。リクエストが通った際は別途費用が必要になります。

**Q** 事前研修には参加した方が良いですか?

**A** 事前研修の参加は任意です。交換留学は、現地の公立高校への就学となり高い挑戦が求められます。事前研修を受けることにより、英語や現地生活の準備を行うことができ、気持ちに余裕がある状況で留學生活に臨むことができます。是非に参加をお勧めします。

**Q** ELTiSテストとは何ですか?

**A** ELTiSは海外の英語圏(主にアメリカ)の高校に留学を行う学生を対象とした英語能力判定試験です。テストでは、英語で行われる授業理解度が対象に行われ、聞き取り能力、読解能力の2分野にて構成されています。アメリカ高校交換留学の参加には800点満点にて689点以上が合格ラインになります。(おおよそ英検2級程度以上が目安です。)試験はオンラインで受検することができます。当機構では、公開オンラインテストを実施しています

## お申込みから出発までの流れ

STEP 1	カウンセリング 説明会への参加	参加希望者は、当機構、または提携エージェント、学校等による説明会、個別カウンセリングなどへご参加をお願いします。プログラム の趣旨と内容をご理解いただき、お申し込みをお願いします。	随時開催中
STEP 2	学校成績の確認 ELTIS の受験	プログラムの参加には、学校成績が平均以上、英語力が必要となり ます。英語力は ELTIS テストのみが対応テストになります。	随時受付中
STEP 3	申込書の提出	ELTIS にて規定スコア取得後に申込書の提出となります。申込書に は、生徒のプロファイル、レター、写真、プログラム同意事項、エ リア希望、現学校への記載依頼書類、医療機関へ記載依頼書類等 があります。	提出の最終期限は 12月31日
STEP 4	申込金のお支払い	お申し込み書提出後、10 日以内に申込金(デポジット)のお支払いとな ります。デポジットの入金確認後に、申込書の提出手続きが開始 されます。	入金期限は 10日以内
STEP 5	入学可否の判断	申込書提出後、入学可否の審査が行われます。必要に応じて、ス カイプでのインタビューが実施されることもあります。	最大 10日程度
STEP 6	残金のお支払い	入学審査の結果、受入「可」となった後に、残金のお支払いとな ります。エリアや都市希望を出している方は、渡航先が決まり次第、 後にその分の費用のお支払いとなります。	入金期限は 1ヶ月以内
STEP 7	追加書類 予防接種	追加必要書類や、追加での予防接種などが求められます。迅速に 対応をお願いします。特に予防接種は、内容に応じて期間をあけな ければならないものも要注意です。	追加資料は 随時提出
STEP 8	ビザの申請	プログラムの受け入れ可となりましたら、DS2019 の発行手続きが 行われます。DS2019 は残金お支払い後にお渡しとなります。受け 取り後、速やかにビザ申請を開始してください。ビザ申請のサポ ートが必要な際は、お問い合わせください。	ビザ申請は 7月までには完了
STEP 9	学校 滞在先の決定	滞在、学校の決定は 8 月 31 日までに行われます。決定が遅くなる こともありますが、辛抱強くお待ちください。先行が決まった後は、 速やかに航空券の手配をお願いします。	最終決定は 8月31日が期限
STEP 10	オリエンテーション & 渡航	渡航や現地生活の内容をしっかりと理解して、渡航ください。 健康に気を付けて渡航までお過ごし頂き、元気に旅立ってください。	渡航までに 4-5回実施

## 事前研修オプション

アメリカ交換留学では、3つの事前研修のオプションを提供しています。  
良い留学は良い準備から。より高い英語力、より多くの経験、より深い知識を持っていることで、  
交換留学でのスキルの向上が倍以上の効果が出るといわれています。  
しっかりと事前準備が留学を成功させる「鍵」になります。

### 高校留学準備オリエンテーション ~Orientation~ オンライン開催

留学のためのオリエンテーションを出発までに4-5回実施。出発に向けての準備、  
マインドセット、モチベーションを段階的に向上させていきます。  
①「渡航に向けて（荷物、スマホ、保険、お金の管理方法など）」  
②「留学の心構え、異文化生活」  
③「ホームステイ生活について」  
④「現地校について」 (2025年実施例)



### 国際交流プログラム ~Global Leaders Project~ オンライン開催

Global Educationでは留学を控えた生徒のために、事前学習の一環として  
「COILプログラム (Collaborative Online International Learning)」を導  
入しています。このオンラインプログラムでは、海外の高校生とインターネットを通じてつ  
ながり、国境を越えて協力しながらプロジェクトに取り組みます。COILは、世界中の  
大学で導入が進む革新的な教育方法で、国際的な視野を広げるとともに、グローバ  
ル社会で必要とされるスキルを育てることができ、思考力・発想力、問題解決力、多  
様性を受け入れる柔軟性、創造力、他者との効果的なコラボレーションとコミュニケ  
ーション力など留学先で必要とされる力を養います。



### 交換留学オリエンテーション ~NY Orientation~ 期間：3泊4日 場所：ニューヨーク

3泊4日で行われる交換留学オリエンテーション・プログラムではニューヨーク・マンハッタン  
ツアーやISEスタッフによる交換留学オリエンテーションが実施されます。プログラムスタッ  
フから直接受けるオリエンテーションでは交換留学での知識を深く得ることができ、よりス  
ムーズな留学生活を送ることが出来ます。交換留学に参加する生徒が集まるこのプロ  
グラムでは世界中の交換留学生と出会うことが出来ます。



#### 参加資格

- ・プログラム参加時に 15 歳～ 18 歳以下の現役高校生
- ・ ELTIS にて所定の点数を取得している方
- ・過去 3 年間の学業成績が平均以上である方
- ・アメリカ高校、または州が指定する予防接種を受けることのできる方
- ・不登校や病気等により、出席率が著しく不良でない方
- ・過去に F 1 ビザ、J1 ビザでアメリカに留学経験のない方
- ・英語をはじめとして、学習意欲が高い方、自立した生活が送れる方
- ・心身ともに健康で、チャレンジ精神が旺盛な方、宗教や文化、人種などに偏見のない方
- ・プログラム確認事項、ISE プログラム参加規約を理解し同意できる方

#### 提出書類

- ・プログラム申込書
- ・学校よりの推薦状(所定の書式あり)
- ・過去 3 年間の英文での成績証明書
- ・健康診断、予防接種記録(所定の書式あり)
- ・ELTIS スコア
- ・パスポートのコピー(取得済みの方)



取り扱い留学・旅行代理店

 **アズ留学センター**

〒430-0928

静岡県浜松市中央区板屋町101-22小川ビル3F

電話：053-451-6188

メール：sodan@az-ryugaku.com

交換留学運営団体

**International Student Exchange**

日本窓口：

一般社団法人 国際教育交流ネットワーク機構

160-0022 東京都新宿区新宿 3-2-1 京王新宿 321ビル 7F

Phone: 03-6683-7711 | [info@global-education.or.jp](mailto:info@global-education.or.jp) | [www.global-education.or.jp](http://www.global-education.or.jp)